

第6回「ドングリ学校」

「オオムラサキの森づくり」植樹&里山体験

日 時：2012年9月16日（日）

場 所：山梨県北杜市長坂町 NPO 法人「自然とオオムラサキに親しむ会」が維持管理する民有林

参加者：18人（大人15人・子ども3人）

交 通：貸し切りバス運行



連休の中日で中央高速が予想以上に渋滞しましたが、その日は快晴で車窓から見える山々に心癒されました。まず植樹先NPOの跡部理事長から、オオムラサキ等の昆虫が好むエノキやクヌギ、コナラ等の落葉樹の苗木を植えて、荒れた里山を一緒に再生していきましょう、との挨拶があり、次に下草刈りの時に間違えて苗木を刈らないように、1本ずつ色テープをつけるよう説明を受け、作業に入りました。



シャベルで穴を掘った瞬間、「この土ふわふわだー」との声が・・・新川崎の植樹会場の土壌との違いを体感。クヌギやコナラ等の落ち葉をミミズや微生物等が食べて分解し、出てきた糞が栄養となって、肥えたふわふわの土壌になること、その土からの栄養をもらったドングリ苗木が、やがて大きな木になり、森に生長することを学びました。

みんなで100個の穴を掘り、大事に育ててきた苗木を「大きくなーれ」と祈りながら山へかえました。



植樹を終えてオオムラサキセンターに移動し、さあ昼食です。お弁当にJR貨物労組が作ったとん汁、地元で採れた栗や梅干し等の差入れをいただき、みんな大喜び、ご馳走様でした！

昼食後は、オオムラサキセンターの里山散策やドングリストラップ作り、昆虫採りなどをして里山の自然を満喫しました。帰りには温泉に入って汗を流し、バスの中ではふりかえりやビンゴなどをして交流を深めました。第6回ドングリ学校は、五感で自然や秋を感じることができ、子どもも大人もとても楽しい一日となりました。